

文化芸術交流事業に必要な経費

市民青少年交流事業費

1. 人物交流事業費

- (1) 中学高校教員交流（招へい）
- (2) 市民青少年交流（指導者交流）
- (3) アジア青年文化奨学金（中等教育プログラム）（AC）
- (4) 開高健記念アジア作家招へい（AC）
- (5) 文化交流企画運営補助ボランティア

2. 催し等事業費

- (1) 市民青少年交流（主催）
- (2) 市民青少年交流（主催）（中東）
- (3) 市民青少年交流（助成）
- (4) 市民青少年交流（助成）（AC）
- (5) 市民青少年交流（助成）（中東）
- (6) 異文化理解ワークショップ（中東）
- (7) 異文化理解ワークショップ（AC）
- (8) 異文化理解ワークショップ

1. 人物交流事業費 (1) 中学高校教員交流 (招へい)

諸外国の中学校・高校レベルでの日本理解を促進するため、中学・高校の社会科教員または中等レベルの教育行政に携わっている者をグループで招へいし、研修・視察の機会を提供する。

合計額 156,560,524円

グループ名	国	人数	期間	事業内容
1 中高教員グループ (第1)	インドネシア	5	05.06.22～ 05.07.05	各国の青少年教育指導者の日本の教育・文化に関する理解を促進し、自国の青少年の日本理解促進につなげるため、世界各国の中等教育に携わる教員（主として社会科、国際理解教育）等をグループで招へいし、わが国の教育、文化、社会等の実情を視察し、関係者との意見交換の機会を提供
	シンガポール	3		
	フィリピン	5		
	マレーシア	5		
	カナダ	5		
	キプロス	3		
	ギリシャ	2		
	アラブ首長国連邦	3		
	イラク	3		
	オマーン	2		
	カタール	3		
	バーレーン	1		
	エジプト	5		
	スーダン	3		
	エチオピア	3		
	ガーナ	3		
	カメルーン	3		
	ケニア	3		
	2 中高教員グループ (第2)	エルサルバドル		
キューバ		3		
グアテマラ		3		
コスタリカ		3		
メキシコ		5		
アルゼンチン		3		
ウルグアイ		3		
エクアドル		3		
ブラジル		5		
アゼルバイジャン		3		
アルメニア		3		
ウズベキスタン		3		
カザフスタン		3		
キルギス		1		
グルジア		1		
タジキスタン		3		
ロシア		5		
アルジェリア		2		
アンゴラ		3		
ウガンダ		3		

市民青少年交流事業費

	グループ名	国	人数	期間	事業内容
3	中高教員グループ(第3)	カンボジア タイ インド スリランカ オーストラリア トンガ ニュージーランド アイスランド アイルランド イタリア 英国 オーストリア オランダ ドイツ フランス スロベニア ハンガリー	3 5 5 3 5 3 3 2 3 5 5 3 3 5 5 3 5	05.11.16～ 05.11.29	各国の青少年教育指導者の日本の教育・文化に関する理解を促進し、自国の青少年の日本理解促進につなげるため、世界各国の中等教育に携わる教員(主として社会科、国際理解教育)等をグループで招へいし、わが国の教育、文化、社会等の実情を視察し、関係者との意見交換の機会を提供
4	中高教員グループ(韓国)	韓国	26	05.10.05～ 05.10.18	各国の青少年教育指導者の日本の教育・文化に関する理解を促進し、自国の青少年の日本理解促進につなげるため、世界各国の中等教育に携わる教員(主として社会科、国際理解教育)等をグループで招へいし、わが国の教育、文化、社会等の実情を視察し、関係者との意見交換の機会を提供
5	韓国派遣日本教員事前研修	日本	20	05.10.25～ 05.11.09	韓国国際交流財団との相互交流プログラムの一環として、日本の中学・高校の社会科教員の韓国研修の渡航前オリエンテーションを実施

1. 人物交流事業費 (2)市民青少年交流(指導者交流)

市民青少年交流分野で指導的立場にある内外の専門家を少人数のグループで派遣または招へいし、調査・視察・意見交換等により関係者間のネットワーク形成と、同分野の新たな交流を促進する。

合計額 9,993,883円

	事業名	国	都市	会場	期間	事業内容
1	インド・ブータンまちづくりグループ(派遣)	インド ブータン	アーメダーバード チェンナイ デリー ニューデリー ボンダイ シェリ ティンブーパロ プナカ		05.12.25～ 06.01.09	平成16年度に実施したインド・ブータンまちづくり専門家グループ招へいのフォローアップとして、日本においてさまざまな分野でコミュニティ活性化とにぎわいづくりに取り組むまちづくり専門家をグループで派遣し、関係者との意見交換と現場視察、セミナー等への参加を実施

市民青少年交流事業費

	事業名	国	都市	会場	期間	事業内容
2	EUまちづくりグループ (派遣)	スペイン	バルセロナ		06.03.23～ 06.03.28	平成16年度に実施したEUまちづくり専門家グループ招へのフォローアップとして、日本において市民主導のまちづくりとコミュニティ活性化に取り組む専門家をグループで派遣し、関係者との意見交換と現場視察、セミナー等への参加を実施

1. 人物交流事業費 (3) アジア青年文化奨学金 (中等教育プログラム) (AC)

アジア域内の将来を担う人材育成を促進するため、アジア各国と日本の高校生の交換留学事業を行なう。
合計額 13,498,995円

	事業名	国	人数	期間	事業内容
1	アジア青年文化奨学金 (中等教育プログラム) (AC) 招へい	韓国	4	05.04.01～ 06.03.31	アジア各国の青少年同士の相互理解促進のため、韓国・インドネシア・タイ・フィリピン・マレーシアの5カ国から第10期生として各国4名、合計20名の高校生を招へい。留学生は、一般家庭にホームステイしつつ日本の高校に通学。招へい期間は原則11カ月
		インドネシア	4		
		タイ	4		
		フィリピン	4		
		マレーシア	4		
2	アジア青年文化奨学金 (中等教育プログラム) (AC) 派遣	韓国	2	05.04.01～ 06.03.31	アジア各国の青少年同士の相互理解促進のため、日本人高校生を第9期生としてインドネシア・タイ・フィリピンに各2名、マレーシアに3名、第5期生として韓国に2名、計11名を派遣。留学生は各国の一般家庭にホームステイしつつ高校に通学。派遣期間は原則11カ月とするが、派遣時期は各国の学期制度に合わせるため国によって異なる
		インドネシア	2		
		タイ	2		
		フィリピン	2		
		マレーシア	3		

市民青少年交流事業費

1. 人物交流事業費 (4)開高健記念アジア作家招へい (AC)

日本では紹介されることの少ないアジアの文学を一般市民へ紹介するとともに文学関係者間の交流を促進するため、アジアから作家を招へいし、日本各地で講演会などを実施する。

合計額 5,701,770円

	事業名	国	都市	会場	期間	共催者	事業内容
1	第15回 「仏ダドゥル・ホワ・ミロン」	バングラデシュ	仙台市 東京 大阪市 広島市	仙台文学館 国際交流基金国際会議場 大阪国際交流センター小ホール ひろしま国際センター交流ホール	06.03.10～ 06.03.23	財団法人仙台市市民文化事業団 財団法人大阪国際交流センター 財団法人大阪21世紀協会 財団法人ひろしま国際センター	作家の故開高健の遺族からの寄付金により、バングラデシュの作家を招へいし講演会を実施
2	第16回 「丁雲(ディン・ユン)」	シンガポール	-	-	05.04.01～ 06.03.31	-	作家の故開高健の遺族からの寄付金により、シンガポールの作家を招へいし講演会を実施(平成18年度事業の準備)

1. 人物交流事業費 (5)文化交流企画運営補助ボランティア

日本との文化交流活動を主たる業務としている海外の非営利団体へ市民ボランティアを派遣し、企画運営補助業務を行なう。

合計額 9,797,261円

	氏名	国	期間	受入機関	事業内容
1	兼崎 妙	マレーシア	05.05.17～ 06.05.16	マレーシア日本語協会	より広い地域・幅広い層の市民青少年を担い手とする、地域や事業分類に限定されない多様な交流活動を活性化するため、日本に関する総合的文化事業運営を実施している海外の団体で補助業務を行なうボランティアを公募・人選のうえ、派遣
2	岩崎 優子	ドイツ	05.03.30～ 06.03.29	ベルリン日独センター	より広い地域・幅広い層の市民青少年を担い手とする、地域や事業分類に限定されない多様な交流活動を活性化するため、日本に関する総合的文化事業運営を実施している海外の団体で補助業務を行なうボランティアを公募・人選のうえ、派遣
3	山崎 夕佳	エジプト	05.05.10～ 06.05.09	エジプト日本語教育振興会	より広い地域・幅広い層の市民青少年を担い手とする、地域や事業分類に限定されない多様な交流活動を活性化するため、日本に関する総合的文化事業運営を実施している海外の団体で補助業務を行なうボランティアを公募・人選のうえ、派遣

2. 催し等事業費 (1)市民青少年交流（主催）

諸外国の市民青少年レベルでの相互理解と国際交流を促進するため、市民青少年交流活動を幅広く展開する団体の関係者や、指導的立場にある専門家を日本から派遣または招へいし、視察・意見交換に加えシンポジウムや講演会などの機会を提供する。

合計額 15,515,409円

	事業名	国	都市	期間	事業内容
1	アジアNPO派遣	韓国 インドネシア タイ	ソウル ジャカルタ ボゴール バンコク	05.08.21～ 05.09.02	アジア各国におけるNPOの活動状況およびNPOを取り巻く環境等について把握するため、日本からNPO関係者を派遣し関係者・機関との意見交換・活動見学等を実施
2	コミュニティ主導の国際協力・日欧交流プログラム（招へい）	イタリア	名古屋/滝川市（北海道）/札幌/横浜/東京	05.07.09～ 05.07.17	日欧のコミュニティレベルでの国際交流・国際協働に関する実務者の対話促進のため、EUから関係者を招へいして日本各地でセミナーを財団法人日本国際交流センターと共催で実施
3	日・EU青少年セミナー参加者グループ派遣	英国	ロンドン	05.11.22～ 05.11.26	日・EU市民交流年事業の一環として青少年の育成・学校外教育をテーマとしたシンポジウムに日本側参加者を派遣

2. 催し等事業費 (2)市民青少年交流（主催）（中東）

中東地域を対象として、文化分野における市民・青少年レベルでの国際交流を促進し、相互理解を深めるため、市民青少年交流活動を幅広く展開する団体の関係者や、指導的立場にある専門家をグループで派遣または招へいし、意見交換、セミナー、シンポジウム、ワークショップ等を実施する。

合計額 11,905,916円

	事業名	国	都市	会場	期間	事業内容
1	中東女性・市民団体交流（派遣）	アラブ首長国連邦 イラン エジプト	アブタビ テヘラン カイロ	General Womens' University アッザーラ大学 ザード大学	05.09.15～ 06.09.26	中東各国における女性に関する問題に取り組んでいるNPOの活動状況およびNPOを取り巻く環境等について把握するため、日本から女性ジャーナリストやNPO関係者を派遣し関係者・機関との意見交換・活動見学等を実施
2	中東女性・市民団体交流（招へい）	アラブ首長国連邦 エジプト	東京 埼玉 名古屋	リバティーホール NWEC（国立女性教育会館） 名古屋国際センター	06.03.15～ 06.03.28	「中東女性・市民団体交流（派遣）」のフォローアップとして、女性の社会参加と次世代を担う青少年交流の指導者育成等に携わる関係者を招へいし、日本側の同様な活動に携わる関係者との情報・意見交換を実施。また、中東文化を紹介する一般公開パネルトークを実施

市民青少年交流事業費

2. 催し等事業費 (3)市民青少年交流 (助成)

日本と海外の市民レベルにおける相互理解を促進するため、日本の団体が実施または参加する事業に対し、旅費の一部を助成する。

合計額 38,217,086円

事業名	国	期間	助成対象者	事業内容
1 「であいフォトエッセイカフェ」プロジェクト	韓国 中国 オーストラリア ニュージーランド カナダ 米国 英国 ドイツ	05.04.01～ 06.03.31	財団法人国際文化フォーラム	海外の中高校生（米国/オーストラリア/ニュージーランド/カナダ/英国/中国/韓国/ドイツなど）が制作した自分についてのフォトエッセイを「であいフォトエッセイカフェ」ホームページに掲載する。応募者のなかから10名を日本（沖縄）に招へいし、日本理解を深めるとともに日本の高校生と共同プロジェクトを実施
2 地球子ども村2005	韓国 中国 全世界区分困難	05.08.08～ 05.08.15	特定非営利活動法人 地球子ども村	2005年「愛・地球博」開催を契機に、「地球市民」として自覚を持ち、地球規模で考え行動できるよう日本、中国、韓国など世界各国（十数カ国）の子どもたちの参加者（約80人）を対象にホームステイや自然体験、交流活動を通じて国際理解を進めるとともに、それを支援する大人の国際理解力を高めるため大人向け国際理解教育を実施
3 はばたけ21未来の子どもたちへ	中国 ロシア	05.08.22～ 05.08.28	はばたけ21の会	ロシア（ハバロフスク/ウラジオストク）、中国（ハルビン）および新潟県（小学校5・6年生：10・11歳）といった環日本海地域の子どもの国際交流活動。自然の家（妙高村）で共同生活を通して相互理解を図ると共に、「環境」等をテーマにした子ども自然会議の開催、各国の文化交流を実施し、児童の国際性を養うことを目指した。実施にあたっては、企業・行政・市民が一体となってボランティアスタッフとして協力
4 国際学生シンポジウム	フィリピン オーストラリア カナダ 米国	05.05.17～ 05.05.22	清泉女子大学	清泉女子大学国際交流センターおよび地球市民学科が中心となり、アメリカ、カナダ、オーストラリア、フィリピン等の大学生参加を得て、「環境教育」をテーマにシンポジウムを実施。各国の事情、醸成を理解しあい、世界的視野を広げ、相互に学び取った事柄を各々の国、地域社会で適用することを目指して、共同生活を通じ情報交換および課題の討論を実施
5 トークアジア	アジア地域区分困難	05.11.03～ 05.11.06	国際学生団体 アジアン	アジア6カ国に持つカウンターパート（ボランティア活動団体）から代表者を招へい、日本の大学生、高校生との対話セミナーを開催し、市民青少年が主体的かつ多角的に開発教育を論じる場を創出。アジアのよりよいパートナーシップ構築のための3日間のセミナーの他、料理大会等交流会も開催

	事業名	国	期間	助成対象者	事業内容
6	アース・シンポジウム イン ジャパン	カナダ	05.06.18～ 05.06.30	アースシンポジウム イン ジャパン 実行委員会	カナダで毎年開催されている芸術と社会とのかかわりなどをテーマにしたワークショップ「アース・シンポジウム」の日本版を開催。シンポジウム主催者ジュディス・マーキューズら5名を招へいし、横浜、名古屋、東京で小中高生を対象に、社会性・自立心の育成を目的とした演劇ワークショップを開催
7	アート活動を通じた精神障害者の自己実現と社会復帰に関する国際交流活動	米国	05.10.19～ 05.12.31	財団法人たんぼぼの家	米国で精神障害者のアート活動を推進しているNPOのスタッフおよびアーティスト計5名が来日し、現状と意義につき意見交換を行ない、作品の展覧会および講演会を実施
8	創立15周年記念HIA講演と俳句大会	米国	05.11.13～ 05.11.15	国際俳句交流会	助成対象団体の創立15周年を記念し、リー・ガーガ(米国「モダンハイク」編集長)および有馬朗人による講演を実施。参加者との意見交換・懇談会等も実施
9	日・中米外交関係樹立70周年記念・ハイチ・ダンスワークショップ2005	ハイチ	05.11.17～ 05.12.01	ハイチ友の会	ハイチから3名のアーティストを招へいし、写真展のギャラリートークの他、京都の大学・中学校および新宿村スタジオでダンスと太鼓のワークショップを実施
10	演劇の社会的な役割についての国際交流－国際オルタナティブ演劇祭2005参加事業	メキシコ	05.11.16～ 05.11.25	路上演劇祭 Japan実行委員会	メキシコシティで毎年開催されている演劇の社会的な役割についての情報交換・技術交換・相互理解のプログラムである「路上演劇祭」の日本版実行委員会のメンバー15名が、メキシコの演劇祭に参加し、日本(世田谷区)における市民参加型路上演劇祭とまちづくりの成果を伝えるワークショップを開催。日本からはワークショップの指導者を中心としたメンバーが参加
11	第8回フェスティバルドジャポンにおける文化交流ワークショップ	ブラジル	05.07.17～ 05.07.24	財団法人ならまち振興財団 奈良市音声館	奈良でわらべうた教室を通じた市民交流・世代間交流を展開している助成対象団体の職員や劇団員7名が、サンパウロで開催された「日本祭り」に参加しわらべうたを通して日本文化を紹介。併せてブラジル日系人社会におけるわらべうたの調査を行なった。「日本祭り」はブラジル社会での日本文化の融合をテーマにした市公認事業であり、3日間で45万人超が参加
12	カルタを通じた日本語学習と文化交流	ブラジル	05.10.01～ 05.10.14	ユネスコ・がんばろい大牟田の会	「カルタ発祥の地」とされる福岡県大牟田市に所在し、カルタ遊びを通じた日本語学習、日本文化の紹介を広く内外で行なっている助成対象団体の団員10名がサンパウロなど数カ所で日系人を含んだ参加者に対して、カルタの紹介、カルタ作りワークショップを行ない、日本語を通じた日本文化の紹介と遊びの体験交流を実施

市民青少年交流事業費

	事業名	国	期間	助成対象者	事業内容
13	日伊青年演劇交流：ローマKyogen一座日本ツアーとシンポジウム	イタリア	05.09.14～ 05.09.30	日伊青年演劇交流実行委員会	ローマ大学で日本語や日本文化を学ぶ学生が、関根勝（早稲田大学教授）の指導により、ルネッサンス期のイタリア即興喜劇を翻案した狂言を稽古し、その成果を東京や大阪など各都市の能楽堂において発表。あわせて伝統演劇に関するワークショップやシンポジウムを日本の大学生とともに実施
14	マテーラ/バジリカータ日本伝統文化祭2005	イタリア	05.09.22～ 05.09.29	日本生活文化交流協会	日-EU市民交流年事業。南イタリア・バジリカータ州マテーラ市、ポテンザ市を助成対象団体（1989年設立以来日本の生活文化を総合的に体験し日本人の素顔を伝える事業を世界各地で実施）の会員約80名が訪問し、大学等で茶道、華道、書道、香道、折り紙、人形的生活文化を総合的に紹介
15	障害のある人達を含むダンス国際交流第1回世界大会参加事業	英国	05.04.03～ 05.06.20	特定非営利活動法人みやぎダンス	英国、ドイツ、スリランカ等世界7カ国から障害のある人・ない人がともに活動するダンス団体が集う大会に、日本から唯一の団体として招へいを受け、身体表現に関するワークショップや作品発表を実施。また、一部メンバーは大会の2カ月前からロンドンに滞在し、ロンドンのダンスチームと共同作品の制作を行なった他、市内ダンス団体、芸術団体の活動視察や意見交換等を実施
16	「日-EU市民交流年」記念広島舟入・欧州高校生交流推進事業	英国 フランス	05.05.06～ 05.05.17	広島舟入・欧州高校交流推進委員会	広島県の高校生が、ストラスブールの欧州議会を会場として開催される「ユーロスコラ」に参加し、EU加盟国から参加する高校生と「平和」を軸としたテーマについて議論した。また、フランスおよび英国の高校を訪問し、文化紹介や意見交換を実施
17	日本の伝統文化「てまり」を通じた英国との交流	英国	05.05.15～ 05.05.22	特定非営利活動法人日本てまり文化振興協会	在英国大使館の協力により、大使館ギャラリーやロンドン近郊の中学校において「てまり」の制作講習および展示を実施
18	「ウェールズグラウンドワークトラスト&グラウンドワーク福岡共同プロジェクト2005」	英国	05.05.22～ 05.05.29	特定非営利活動法人グラウンドワーク福岡	英国で生まれた、地域・行政・企業を結ぶコミュニティ環境改善活動である「グラウンドワーク」の国際協働の一環として、福岡を拠点として活動するNPOが、ウェールズからグラウンドワーク実践者や小中高生を招き、グラウンドワーク活動に関する学校でのワークショップや、地域住民を招いてのシンポジウム、活動現場視察等を実施
19	英国バクストン国際人形劇フェスティバル青少年派遣事業	英国	05.07.23～ 05.08.01	財団法人札幌市青少年女性活動協会	英国で開催される「バクストン国際人形劇フェスティバル」の招へいを受け、札幌市内で人形浄瑠璃を学ぶ青少年を派遣し、現地で開催されるワークショップにおいてイギリスの青少年と共同で作品制作と発表を行なった。また、人形浄瑠璃の上演を通じ日本の伝統文化を紹介

	事業名	国	期間	助成対象者	事業内容
20	日英グラウンドワーク連携－環境・まちづくり活動人材育成・交流拠点形成事業	英国	05.09.01～ 06.03.31	特定非営利活動法人グラウンドワーク三島	行政・市民・企業の連携により環境改善・青少年育成活動を展開する助成対象団体が、全国研修センターの設置に向け、英国パートナー団体等と意見交換・ワークショップを実施。相互に渡英・渡日して先進事例、研修カリキュラム、教材作成、人材育成等を学びあう体験学習型まちづくり活動の日英NPO協働事業
21	ハイムーン環境まんが展および講演会・ワークショップ	英国	05.10.06～ 05.10.20	J.E.E.日本環境保護国際交流会およびnew letters from Kyoto (NLK)	日本における環境問題・活動を発信し市民レベルでの交流を図るため、英国ケンブリッジで環境問題をテーマに「ハイムーン（高月紘京都大学環境保全センター名誉教授の筆名）漫画」等の展示、まんが教室・ワークショップ・講演会等を開催して建築・芸術文化から環境問題を考察
22	日本とオーストリア、ドイツ間の音楽文化交流	オーストリア ドイツ	05.11.02～ 05.11.09	柏葉会関係者および音楽研究会会員から成る合唱等アンサンブル	東京大学の合唱団OB・OGを中心とするメンバーが、オーストリア・ドイツで現地のプロ演奏者を迎えての合唱自主公演を実施
23	日独ユース・ファッション交流プロジェクト「日独伝統の素材と技法」	ドイツ	05.04.01～ 06.03.31	日独ユース・ファッション交流プロジェクト事務局	「日本におけるドイツ年」事業として、東京ドイツ文化センターの提案に基づき、日独の服飾・衣装文化を学ぶ学生が10月に相手国を相互に訪問し、講義や実習プログラム参加、伝統繊維産地見学等を行なうとともに、訪問で得た成果を踏まえた作品制作・展示を翌年3月に両国で同時に実施
24	ブレーメン・ナゴヤアートプロジェクト2005 “site scenes” 記念シンポジウム「都市を超えるアートプロジェクト」	ドイツ	05.09.02～ 05.10.02	ブレーメン・ナゴヤアートプロジェクト実行委員会	文化によるまちづくりを展開し、芸術によるコミュニティ活性化をめざし、ブレーメンと名古屋の若手作家が16組のペアを組んで共同作業を行ない、市民参加型交流を行なうアートプロジェクト「日独の芸術によるまちづくり専門家によるシンポジウム「都市を超えるアートプロジェクト」も開催
25	2005日独子どもセミナー（受け入れ）	ドイツ	05.10.17～ 05.10.28	沖縄県ユースホステル協会	ドイツザクセン州の青少年50名を沖縄に招へいし、日本の子どもたちとのユースホステルや民宿での共同生活・自然体験活動を通じて交流。ドイツと日本の子どもたちが日本の自然体験活動を通じ、相互に文化や価値観の違いを学び交流
26	フィンランドとの合同教員研修事業「アントレプレナー精神あふれる授業・学校運営」	フィンランド	05.11.26～ 05.12.05	特定非営利活動法人アントレプレナーシップ開発センター	京都市を中心に、青少年の社会参加と起業家精神醸成をめざすアントレプレナー教育を実践している助成対象団体が、小学校・中学校の校長等現場教員を引率して、フィンランドで他のヨーロッパ諸国の教員との合同研修会に参加するとともに、教育省等の関係機関を訪問

市民青少年交流事業費

	事業名	国	期間	助成対象者	事業内容
27	「日-EU市民交流年=鬼島太鼓2005」	フランス ルクセンブルク	05.07.04～ 05.07.12	鬼島太鼓	長野県木島村を拠点に活動する「鬼島太鼓」が、在ルクセンブルク大使館および在ストラスブール総領事館からの招きにより「日・EU市民交流年」の記念事業として小学校や障害者施設等で和太鼓演奏・交流会を実施。また、ヴィルツ市で開催される「ヴィルツ音楽祭」からの招へいを受け、演奏を実施
28	音だま言だま Franco- Japonais	フランス	05.10.05～ 05.10.19	音だま言だま プロジェクト	東京を拠点に、音楽と言葉によるワークショップ活動を行なっている指導者が、フランス各都市の市立センターや日本人学校を会場として、主に子ども達を対象とした「音遊び」や「リトミック」のワークショップ(30人～50人規模)を行なった。また、フランスの詩を日本語に翻訳しピアノによる弾き語りコンサートも実施
29	2005市民・青少年 国際体操文化交流フォーラム	デンマーク	05.10.06～ 05.10.25	デンマーク体操クラブ・アンセル	「日・EU市民交流年」を機に、市民が気軽に参加できる体操文化の発展を期して、その発祥の地であるデンマークの名門教育機関Vesterlund Ungdomsskole校から41名の学生を招へいし、東京・大阪等国内各都市において地域のクラブ、学校(自由学園/玉川大学等)と合同ワークショップを実施した。また、大阪では広く市民が参加する体操フェスティバルに参加
30	ラジオ・ブリッジ京都-プラハ2005	チェコ	05.04.01～ 05.10.31	京都三条ラジオカフェ(特定非営利活動法人京都コミュニティ放送)	京都とその姉妹都市であるプラハのコミュニティ放送ラジオ局(いずれもNPO)が交流を目的に子供達が相互に訪問し、一般家庭にホームステイをしながらラジオ番組制作を学んだ。仕上げとして、両国の子供達が実際に番組を製作し、相手国の放送局でそれぞれ放送。子供達を支える大学生ボランティアの協力により一連の動きを音と映像で記録し発表した
31	チェコ共和国中央ボヘミア地方小町村コミュニティと日本のコミュニティとの交流	チェコ	05.05.13～ 05.08.28	日本チェコ友好協会	日本からの訪問者受入れを活発に行なっているチェコの地域から、日・EU市民交流年を記念して代表団約20名を招へいし、東京(町田市/調布市)、静岡(御殿場市)、長野(松本市)等複数の市町村で、植樹等の市民活動への参加、工場・学校見学、ホームステイ等を行なうとともにチェコについて紹介する市民講座や交流会を実施。また、8月に山梨(韮崎市)の少年サッカーチームを派遣
32	日本ハンガリー青少年の合唱音楽による交流の1週間	ハンガリー	06.03.20～ 06.03.30	日本ハンガリー友好協会	助成対象団体は2000年からハンガリーの作曲家を記念した全国規模の合唱コンクールを開催。日・EU市民交流年を記念して、同コンクールで金賞を受賞した日本の高校の合唱部などから成る合唱団をハンガリーに派遣し、小学校での同世代の合唱団とのコンサート、セミナー、ワークショップなどを行なった。また、折り紙等の紹介やホームステイも実施

	事業名	国	期間	助成対象者	事業内容
33	日本ブルガリア大学生文化交流プログラム	ブルガリア	05.07.30～ 05.08.16	セッションハウス企画室・日本ブルガリア大学生文化交流実行委員会	身体表現を通じて市民交流を実施している助成対象団体がブルガリアの国立演劇・映画アカデミーからのダンス専攻の学生および講師10名を招へい。学生は、日本のダンスの創作・トレーニング方法をワークショップなどで学び、美大生なども含んだ日本の学生とダンス作品を創作。また、講師はワークショップを行なうとともに早稲田大学などでもブルガリアの舞台芸術についての特別講義・講演会を実施
34	2005年度サラエボ国際文化交流	ボスニア・ヘルツェゴビナ	05.08.01～ 05.08.31	2005年度サラエボ国際文化交流実行委員会	サラエボの芸術活動を再興することを目的に「文化の再耕」をテーマとして、日本、ボスニア・ヘルツェゴビナ、ドイツなどの学生10名がサラエボに滞在し、サラエボの町を記録する写真、ビデオ作品、インスタレーションなどを製作。また、市民の協力を得つつ、参加者と住民が芸術の役割などについて討論するシンポジウムを開催。作品のカタログは日本語・英語・ボスニア語で作成
35	日本・ラトビア指揮者交流プロジェクト	ラトビア	06.01.16～ 06.01.23	日本・ラトビア音楽協会	日本・ラトビア両国の優れた合唱指揮者が自国の合唱曲を相手国の青少年に指導し、青少年レベルの国際相互理解を促進するという提案がラトビアの国家的行事「歌の祭典」の時に発表され、それを受ける形で平成17年度は日本からラトビアへ派遣
36	日露交流の原点をたどる	ロシア	05.05.15～ 05.07.01	特定非営利活動法人日本・ロシア協会	日露修好150周年を記念し、条約締結のため寄港した船による交流にちなんで下田からニコライエフスクにヨットで航海を行なうなど一連の記念事業を実施。モスクワでは記念講演、パネルディスカッション、メッセージ交換、展示会等を開催
37	第17回日本・ロシア学生会議	ロシア	05.08.08～ 05.08.26	日本・ロシア学生会議実行委員会	日露で相互に開催されている日本・ロシア学生会議の第17回をハバロフスク、ウラジオストクにて開催。日露あわせて約20名で討論、スポーツを通じた交流、ホームステイ等を行なった。講師として、サルキノフ（山梨学院大学教授）、下斗米伸夫（法政大学教授）などを招へい
38	全ロシア青少年文化スポーツ交流フェスティバル	ロシア	05.08.25～ 05.08.30	秩父郷土芸能研究会	日露修好条約締結150周年を記念してノヴォシビルスク市のロシア・日本協会が開催するフェスティバルにて15名が和太鼓を演奏。フェスティバルではスポーツ、旅行、コンサートなど余暇活動をテーマとするプログラムが生まれ、ロシア内外からの青少年が参加
39	2005年度日本JCロシア友好の会 ロシアミッション	ロシア	05.09.11～ 05.09.17	日本JCロシア友好の会	「北方領土返還要求運動」に関する事業を継続して実施している民間団体が、モスクワ大学を中心としたロシア人学生と日本人学生の交流や国会議員が交流するイベントを開催

市民青少年交流事業費

	事業名	国	期間	助成対象者	事業内容
40	ガーナ三角ベース普及プロジェクト	ガーナ	06.02.04～ 06.02.19	特定非営利活動法人アフリカ野球友の会	ゴムボールを使用しての簡略版の野球ゲーム「三角ベース」の遊び方を、デモンストレーションを通じてウガンダの青少年に紹介し、現地の多くの青少年が野球に接することができる機会を提供するとともに、スポーツを通じた日本・ウガンダ双方の国民の相互理解の促進を図る交流事業を実施
41	GIS（地理情報システム）活動を推進するための市民・NGOの国際交流	ケニア	05.10.30～ 05.11.05	財団法人国際湖沼環境委員会	ケニア・ナイロビで開催される第11回世界湖沼会議に参加し、広く海外の参加者と交流。また同時期に、ナクル市のGISを見学し、ナクル湖の視察、周辺住民・NGOとの交流および意見交換を実施
42	タンザニア女性との草の根交流を通じた手工芸品事業の推進	タンザニア	05.08.07～ 05.08.21	タンザニア・ポレポレクラブ	公募する参加者6名がタンザニアを訪問し、手工芸品作成についての情報交換、洋裁教室・生活向上の運動グループの見学等を実施
43	グローバル・クラスルーム2005 in ケープタウン	南アフリカ	05.07.01～ 05.07.14	グローバルクラスルーム実行委員会	南アフリカで開催されるグローバル・クラスルーム（世界各国の高校生によるフォーラム）に日本の高校生12名が参加し、「過去の共有、未来の構築」というテーマのもとで10日間に渡り討議、発表を行なった。フォーラムには日本のほか南アフリカ、英国、チェコ、ドイツ、スウェーデンの学校が参加し、毎年各校持ち回りで開催
44	Wanakio 2005～市民社会とアート国際ネットワーク～	全世界区分困難	05.04.01～ 05.12.31	特定非営利活動法人前島アートセンター	戦後60年を迎える2005年、那覇の中心市街地で、アジア、ヨーロッパのアーティストやキュレーターを招き、製作過程を重視したまちの中のアート展、ローカルコミュニティや地域文化についてのシンポジウムおよびワークショップなどを市民対象に行なった。文化活動による国際交流と市民社会の発展を図るため、まちの中で芸術家と市民による実践的・創造的プロジェクトを実施
45	アーティスト・イン・レジデンス 美濃・紙の芸術村	全世界区分困難	05.09.01～ 05.12.31	美濃・紙の芸術村実行委員会	世界各国の芸術家を公募、うち5名を招へい。ホームステイ、出身国の文化・社会の紹介、小中学校での国際理解・芸術ワークショップ、市民協力による創作と発表を通じ、市民青少年の異文化理解と交流を促進
46	世界学生会議5th ステージ	全世界区分困難	05.12.01～ 05.12.07	世界の若者による対話－RING実行委員会	イスラエル・パレスチナ・イラク・米国・ドイツ・韓国等から若者を招へいし、京都でパネルディスカッション・講演会・展示・交流会・分科会等を通じて世界の諸問題の理解を深め、若者同士のネットワーク構築を図った。助成対象団体は、2003年に「世界学生会議」を改組、同会議と対話プロジェクトRingを年間各1回交互に開催

2. 催し等事業費 (4)市民青少年交流(助成)(AC)

日本とアジア諸国との市民・青少年の相互理解と友好親善を促進するため、同趣旨の文化交流事業を行なう団体に事業実施経費の一部を助成する。

合計額 19,594,530円

	事業名	国	期間	助成対象者	事業内容
1	日韓子どもシンポジウム 2005	韓国	05.04.01～ 05.12.30	日韓子どもシンポジウム実行委員会	公募で選ばれた日本(福岡)と韓国(釜山)の子ども達各10人が、相互のホームステイやキャンプ、両国の文化体験活動を行ない、その成果を10月に釜山で開催したシンポジウムで発表。日韓両語の報告書を作成
2	日韓農楽交流 -ワーク ショップと名古屋公演、訪韓交流会	韓国	05.05.03～ 05.08.18	ノリパン	韓国伝統芸能(サムルノリ)を愛好する一般市民15名が中心となって、韓国の生活文化を継続して学習・紹介している助成対象団体が、5月に韓国から講師を招き、愛知県春日井市でサムルノリのワークショップを開催。ワークショップ受講者と講師により、名古屋で公演を実施。8月には受講者が訪韓の上、韓国側講師他と公演をソウルで実施
3	ブラボー!	韓国	05.05.27～ 05.07.31	サイト エー	東京およびソウルで実施される交流展示事業に付随するシンポジウム。作家、商店街代表者、キュレーター等が「日本×韓国」、「地域×美術」、「美術×国境」、「創作×地域」をテーマに講演
4	「空飛ぶ車いすIN韓国」	韓国	05.06.01～ 05.12.01	空飛ぶ車いすを応援する会	アジア各国に車いすを修理して寄贈している活動を支援している助成対象団体が、寄贈した車いすの活用状況確認のため、修理活動を行なっている高校生を韓国に派遣。福祉施設を訪問して地元高校生と一緒に修理。また、日本から寄贈した車いすの韓国での利用者とボランティアを日本に招へい、日本で修理を担当している高校生を訪問。アジアからの利用者の声や輸送ボランティアのレポートも作成
5	日韓伝統文化交流 韓国伝統風物チームの招請	韓国	05.07.22～ 05.07.26	特定非営利活動法人翔青会	青少年交流活動を幅広く行なう助成対象団体が、福岡県指定無形民俗文化財黒崎祇園山笠祭において、釜山から小・中・高校生を含む40名を招き、韓国伝統芸能サムルノリを上演し、交流。中学校や教育施設の訪問、意見交換も併せて実施
6	「韓国の友だち、アンニョンハセヨ!」 -小学生ホームステイ交流 2005-	韓国	05.07.26～ 05.08.01	特定非営利活動法人多言語広場 CELULAS	多言語をキーワードに異文化理解プログラムを展開する助成対象団体が、日韓友情年を機に、東京都内の小学5・6年生35名と小学校教師5名を公募し、韓国の小学生のいる一般家庭で4泊5日(各家庭に1人)のホームステイと、日韓青少年交流ワークショップを実施。また韓国人留学生や在日韓国家族と事前、事後活動・勉強会を実施
7	日韓野外伝承遊び大会と会議	韓国	05.07.29～ 05.08.07	社団法人青少年交友協会	ソウルに日本の子ども達・学者・専門家・指導者を派遣し、日韓の野外伝承遊び(素朴な民俗芸能を含む)を紹介する「日韓野外伝承遊び大会」を開催。また、併せて青少年と専門家の交流を深めることを目的に、学者・専門家などによる「日韓野外伝承遊び会議」を開催。その後、天安、釜山でも「野外伝承遊び大会」を開催

市民青少年交流事業費

	事業名	国	期間	助成対象者	事業内容
8	第5回日韓高校生交流キャンプ	韓国	05.08.01～ 05.08.31	社団法人日韓経済協会	日本と韓国の高校生各50名計100名が日本に集まり、自国の観光・文化を売り込む企画をチームごとに作成し、発表する研修プログラムを通じて、意見交換・相互交流を実施
9	第21回日韓学生フォーラム	韓国	05.08.04～ 05.08.18	第21回日韓学生フォーラム	日本メンバー（日韓学生フォーラム）と韓国メンバー（韓日学生フォーラム）のメンバー各20名が沖縄で2週間合同合宿し、分科会での意見交換、フィールドトリップや、全体討論会を実施。両国文化紹介や現地での文化体験、スポーツイベント等も実施。共通言語は英語。事前活動として、週一回の各地勉強会、合宿も開催。反省会、報告書作成、各地で年間活動報告会も開催
10	日韓ユースボランティアキャンプ	韓国	05.08.06～ 05.08.10	財団法人福岡YWCA	韓国・晋州市の中高生30名と、福岡近隣の中高生20名が、事前学習を実施した上で福岡の福祉施設で、共同作業を通じて相互理解を深めるために合同のボランティア活動を実施
11	good！日韓友好交流ボランティアワークキャンプ2005	韓国	05.08.28～ 05.09.10	グッド！	韓国の過疎の農村で日韓の大学生等約30名(日本側14名)が共同で農作業・共同生活を行ない、村の高齢者とも交流を持った
12	青森ねぶた韓国公演共同実施事業	韓国	05.09.24～ 05.09.25	2005年青森ねぶた韓国公演実行委員会	日韓外交正常化40周年および青森・ソウル便就航10周年を記念し、青森ねぶたを韓国で公演。公演に先立ち、韓国でハネト、囃子方の講習会を行ない、実際の公演の際には、講習を受けた韓国からの参加者と青森からの参加者も共演
13	OMURA室内合奏団 韓国公演～海を渡る音色にのせて～	韓国	05.10.01～ 05.10.31	財団法人大村市振興公社	韓国大邱市の「テグ・フィルハーモニーオーケストラ」、[慶北大学オーケストラ]と長崎県大村市の「OMURA室内合奏団」が大邱で合同演奏会を実施。併せて近隣の学校等でのアウトリーチも積極的に実施
14	ハンマウム文化祭2005	韓国	05.10.12～ 05.10.22	特定非営利活動法人狭山市ハンマウムの会	サムルノリ・ソゴの演奏、詩の朗読、ファッションショー、韓国民話劇上演、展示、茶会を含む「文化祭」を日韓相互で開催
15	日韓青年人權ワークキャンプ	韓国	05.12.24～ 05.12.27	国際交流青年実行委員会	日本の大学生約20名が韓国晋州市を訪問、見学や意見交換を通じ、韓国の大学生と同和問題、性差別問題を含む人權問題を相互に学びあう活動を実施
16	第6回青少年の主體的なまなごしを活かした日韓草の根交流	韓国	06.02.16～ 06.02.22	あじあの芽	日韓の若者計30名がソウルおよびその近郊で7日間、合宿形式で交流の課題を発見し、現地見学や討論を実施。共通の未来への提言を作成。ホームステイも実施

	事業名	国	期間	助成対象者	事業内容
17	International Business Contest for Students OVAL BEIJING	中国	05.04.01～ 06.03.31	OVAL BEIJING 実行委員会	日中韓の現地の学生を対象にしたビジネスプランコンテストを、8月に北京で開催。学生が各国から一人ずつの3人一組になり、一週間にわたって、共通のテーマに沿って国際ビジネスプランを作成。プラン策定の過程で相互の特性を理解、尊重し生かし合う思考を体験し、交流を深め、国際的視野を持った学生を社会に輩出することを目的に実施
18	日中高校生社会貢献交流事業	中国	05.06.20～ 06.03.31	財団法人日本青少年研究所	助成対象団体は、日本全国の高校生を対象として、ボランティア活動やクラブ活動で活躍する高校生を奨励し、表彰、交流会を行なう「いきいき活動奨励賞」事業を実施している。この最優秀賞受賞者8名が中国を1週間訪問し、日本と中国の高校生の社会貢献に対する意識を高め、相互理解と友好を図るため、その活動を発表、交流を実施
19	2005 ユネスコ東アジア子ども芸術祭	中国	05.07.27～ 05.08.01	社団法人日本ユネスコ協会連盟	舞踏・音楽・伝統芸能等の舞台芸術を通じた相互の文化への理解促進を目的として、マカオで開催される東アジア子ども芸術祭に、伝統文化を披露できる子どもチームを派遣し、公演および参加者との交流を実施。参加者は、東アジア5カ国1地域（大韓民国/中華人民共和国/朝鮮民主主義人民共和国/マカオ=準加盟/モンゴル/日本）の子どもたち
20	第24回日中学生会議中国開催	中国	05.08.16～ 05.08.30	日中学生会議	日中相互開催の学生会議。今回は、中国（北京/上海）で約50～60名の日中の学生が参加。5つの分科会に分かれ、講師の講演会を交えた事前勉強会を実施し、日中間のみならず様々なテーマについて率直かつ詳細な討論を実施。政府関係機関や企業等の協力を得て、実際に現場を体感するフィールドワークも併せて実施。両国の伝統文化を体験できるプログラムも実施
21	中国日本映像コンテンツ共同制作研究会の開催	中国	05.09.01～ 05.12.31	特定非営利活動法人横浜アートプロジェクト	コンテンツの日中共同制作を通じて、日中相互に連携を図ることで効率よい教育現場を達成し、映画・映像教育をさらに充実させることを目的とし、日中の映画教育界の発展、さらには日中の文化交流・発展に寄与するため、北京と横浜で映像コンテンツ共同制作研究会、横浜で「第4回横浜学生映画祭～横浜国際映像芸術祭2005」、中国日本映像コンテンツ共同制作シンポジウムを実施
22	アジアみらい青年フォーラム2005	中国 カンボジア タイ ベトナム ミャンマー	05.09.03～ 05.09.19	特定非営利活動法人アジアみらいネットワーク	タイ（チェンマイ）に日本、カンボジア、中国、ベトナム、ミャンマーなどの青年・学生が集い、アジアにおける共通の課題（平和/環境/開発/HIV/貧困/国際協力）をテーマにワークショップや施設・学校訪問、交流事業等を行ない、若きリーダー育成を念頭に、アジア共通の抱える課題を解決することを目的に実施
23	日中青少年近未来社会創造交流スクール事業	中国	05.09.10～ 05.09.16	特定非営利活動法人日中環境経済センター	日本（静岡県）と中国の大学生12名による中国浙江省杭州市内における6日間の近未来社会像づくり提案のための自主プログラムを主体とした合宿研修と、同提案発表シンポジウムの開催。日中いずれも参加者は公募により、環境問題や地球資源などのテーマで討議

市民青少年交流事業費

	事業名	国	期間	助成対象者	事業内容
24	日中ユース水 フォーラム 2005 札幌	中国	05.10.28～ 05.10.29	特定非営利活 動法人日中新 世紀協会	日中の大学生による両国の水環境・水問題の合同 フォーラム。事前に課題を設定、調査過程をインター ネットで情報交換し、フォーラムでは問題改善に向け て討議・発表・フィールドワーク等を行なった。問題 を打開する斬新なアイデアを導き、水分野を越えた 様々な世界で次世代リーダーとなる人材育成につなげ る。2004年の第1回北京開催を受けての実施
25	児童による平 和のでっかい 絵・メッセ ージ交換交流事 業	インドネシア	05.05.01～ 05.10.31	社団法人広島 青年会議所	被爆60年を迎える2005年、広島市の小学校の児童とイン ドネシア・南スラウェシ州の小学児童との間で、平 和をテーマにした教育機関、交流を図るため、「平和の でっかい絵」交換により、平和の重要性を学び、その 成果をそれぞれにフィードバックすることを主眼とし た。平和のイメージを作品（絵）にして、相手国にも 展示。双方の児童が相互に派遣・招へい。展示時期は 日本8月、インドネシア9～10月
26	東南アジア理 解講座	インドネシア タイ フィリピン ベトナム マレーシア ミャンマー	05.10.01～ 05.11.27	財団法人京都 府国際セン ター	市民を対象とした、インドネシア、タイ、フィリピン、 ベトナム、ミャンマー、マレーシアに関する文化講座 の実施
27	「ロボテック ワークショップ 」inシンガ ポール2005	シンガポール	05.11.17～ 05.11.21	芝浦工業大学	シンガポール在住の日本人およびシンガポールの子ど もたちを対象に、芝浦工業大学オリジナルのミニロ ボットの製作を通して「モノづくりの楽しさ」を体験 させた。シンガポールの要望に応えセミナーを開催し た。セミナーは2日間開催され、芝浦工業大学電気工 学科教授の講演、ロボット製作、競技会等を実施
28	タイ・日本青 少年交流事業	タイ	05.04.01～ 06.03.31	特定非営利活 動法人国際交 流の会とよな か	タイの中学生・高校生を招へいして日本（大阪府）で 国際会議を開催した。また、日本の中学生・高校生を タイへ派遣し、タイでも国際会議を開催。テーマは、 「平和と環境」。タイ・日本の青少年の交流を深め、国 際理解を促進
29	日タイ市民青 少年交流プロ ジェクト「ア ジア自然学 校」	タイ	05.06.01～ 06.03.31	特定非営利活 動法人コミ ネット協会	日本国内に在住する10代（13歳～19歳）を対象に、東 アジアの南北に位置する日本とタイでの環境教育ワー クキャンプをとおして、より豊かな国際的感覚を、環 境という視点を取り込みながら醸成し、次代を担う感 性豊かな人材育成を目指す。帰国後に日本で10月に開 催される日タイ環境成果を教育フォーラムで報告
30	チェンマイ・ タイ青少年民 族舞踊団国際 理解普及事業	タイ	05.09.20～ 05.10.12	特定非営利活 動法人プロ・ ワークス十和 田	タイの青少年民族舞踊団を招へいし、主に同舞踊団の 公演をとおして、青森、岩手県の小学生、中学生、高 校生と国際交流を行なった

	事業名	国	期間	助成対象者	事業内容
31	ベトナムにおける日越大学生交流イベント、北部山岳少数民族との文化交流体験	ベトナム	06.03.07～ 06.03.18	特定非営利活動法人ICA文化事業協会	日本の青少年と日本のNGO（ICA文化事業協会）がベトナムの山岳地帯に住む少数民族とスポーツ、民族ダンスの交流をとおしてネットワークの拡大を図るとともにワークショップ、共同植林を実施
32	日本とモルディブの環境・自然対話プロジェクト	モルディブ	05.05.28～ 06.03.18	対話プロジェクト	富山国際大学との協力により、両国の環境・自然教育指導者と学生が、ITを活用した対話や、相互訪問により、地球的規模の課題を共有し理解を深める事業。また、訪問時に撮影した映像を使って環境・自然教育用映像教材を作成し、それを活用して双方で活動
33	国際理解講座「ひろしまアジア塾」開催事業	全世界区分困難	05.05.18～ 06.03.01	財団法人ひろしま国際センター	アジア・太平洋地域の政治・経済・文化・歴史等について大学教官等専門的な講師による定期的な講義・ゼミを行なった。また、NGO・NPOの実務にふれ、NGO活動を推進するリーダー的人材の育成を図った

2. 催し等事業費 (5)市民青少年交流（助成）（中東）

日本と中東の市民・青少年の相互理解を促進するため、日本の団体が実施または参加する事業に対し、旅費の一部を助成する。

合計額 3,173,000円

	事業名	国	期間	助成対象者	事業内容
1	イスラエル・パレスチナ・日本「平和をつくる子ども交流プロジェクト」	イスラエル パレスチナ	05.07.29～ 05.08.12	特定非営利活動法人聖地のこどもを支える会	イスラエル、パレスチナの高校生計10名を日本に招へいし、東京、広島、長崎で日本の高校生と「中東和平」、「原爆と平和の問題」などについての討議を実施。在京イスラエル大使館、パレスチナ代表部双方が後援
2	ピース・キッズ・サッカー2005	イスラエル パレスチナ	05.08.17～ 05.08.28	特定非営利活動法人ピース・キッズ・サッカー	イスラエル、パレスチナの15歳前後の子供各6名を日本に招へいし、日本の中高中生と10日間の共同生活の中でサッカー、それぞれの文化の紹介、ゲームを通じた異文化理解ワークショップを実施。日本での共同生活により交流・対話を重ねることで多様な価値観を尊重しあう姿勢を身に付けることを目指した
3	イスラエル・パレスチナ・日本の市民交流事業～草の根の活動からみえる紛争地の平和・人権・健康	イスラエル	05.11.01～ 05.11.15	特定非営利活動法人日本国際ボランティアセンター（JVC）	人権と保健医療の視点から活動を続けるイスラエル・パレスチナのNGOの関係者を日本に招へいし、市民や学生が広く参加できるシンポジウム、交流会などを開催。イスラエル・パレスチナ相互の信頼醸成にもつながる彼らの活動を日本社会にも紹介し、紛争地の人道状況や平和を求める市民の声を日本で広く知ってもらうとともに、平和・人権のために日本の市民が果たす役割について共に考える機会を提供

市民青少年交流事業費

	事業名	国	期間	助成対象者	事業内容
4	日本とトルコで東西文化ほんもの体験プログラム連携事業	トルコ	05.10.21～ 05.11.22	子どもの美術教育をサポートする会	トルコの文化芸術教育普及に関わっている若い専門家を日本に招へいし、滋賀県の小学校や地域での活動に参加しながら、日本の子供たちにトルコの文化伝統を紹介。その後、日本からの派遣も行ない、トルコの子供たちと交流

2. 催し等事業費 (6) 異文化理解ワークショップ (中東)

中東諸国の歴史・文化・国際関係などに関する理解を促進するため、中東諸国の知識人や日本人専門家を講師に迎えた講演会、ワークショップまたは連続講座を開講し、また、展示会を開催する。

合計額 10,909,364円

	事業名	国	都市	会場	期間	共催者	事業内容
1	中東・イスラーム理解セミナー (宮城県)	イラク	仙台市	せんだいメディアテーク	05.07.05	宮城県/外務省	日本国内の中東理解促進のため、在京イラク大使および中東地域研究者により講演会を実施
2	中東・イスラーム理解セミナー (埼玉県)	イスラエル	浦和市	国際交流基金日本語国際センター	05.11.25	さいたま市/埼玉県/外務省	日本国内の中東理解促進のため、在京イスラエル大使および中東地域研究者による講演会を実施
3	中東・イスラーム理解セミナー (山口県)	トルコ	山口市	ニューメディアプラザ山口 (NPY)	06.02.11	山口県国際交流協会/日本国際連合協会/山口県/外務省	日本国内の中東理解促進のため、在京トルコ大使および中東地域研究者による講演会を実施
4	中東理解講座	中東地域区分困難	東京	国際交流基金国際会議場 日本教育会館	05.04.01～ 06.03.31	－	当該地域の社会・文化・芸術等に関する基本的な知識・情報を体系的に提供することを目的として、一般市民向け講座を実施
5	アラビアンナイト大博覧会	中東地域区分困難	東京	国際交流基金フォーラム	05.12.22～ 06.01.31	国立民族学博物館	中東の社会・文化事情やその歴史的背景についてのより深い関心と正確な理解を促すことを目的とした展覧会、欧米・日本におけるアラビアンナイト物語の受容と変容そして流用の具体例を網羅的に展示。虚構と現実の違いに焦点をあてながら、中東イスラム世界の一般的イメージと、そのイメージから読みとれる、とくに日本における異文化認識について検証

2. 催し等事業費 (7)異文化理解ワークショップ (AC)

アジア諸国の歴史・文化・国際関係などに関する理解を促進するため、アジア諸国の知識人や日本人専門家を講師に迎え、講演会、ワークショップまたは連続講座を開講し、また、展示会を開催する。

合計額 31,052,805円

事業名	国	都市	会場	期間	事業内容
1 アジア理解講座	アジア地域区分困難	東京	国際交流基金国際会議場 日本教育会館 U.S.エデュケーション・ネットワーク	05.04.01～ 06.03.31	アジア各国の社会・文化事情やその歴史的背景などについてのより深い関心と正確な理解を促し、かつ、当該地域の社会・文化・芸術等に関する基本的な知識・情報を体系的に提供することを目的として、一般市民向け講座を実施
2 アジア理解講座出版	アジア地域区分困難	-	-	05.04.01～ 06.03.31	アジア理解講座で行なわれた講義内容を『異文化理解講座シリーズ』（山川出版社）として書籍化。本年度はシリーズ第5巻『「規範」からの離脱－中国同時代作家たちの探索』を刊行
3 第8回漫画展	アジア地域区分困難	ソウル マニラ バンコク ウボンラーチャターニー ニューデリー 上海 ジャカルタ	ソウル日本文化センターギャラリー ショッピングセンター「グリーンベルト3」 バンコク日本文化センターアートスペース ウボンラーチャターニー職業学校ホール ラリットカラアカデミー 上海劉海粟美術館 日本文化センターギャラリー	05.05.12～ 05.05.25 05.06.02～ 05.06.10 05.07.15～ 05.08.13 05.08.19～ 05.09.17 05.10.01～ 05.10.28 05.11.22～ 05.12.01 06.01.08～ 06.01.27	平成15年度に開催した「第8回アジア漫画展－生きがい」は平成15年度、16年度に国内9都市およびマレーシアでの巡回が終了したことから、平成17年度は韓国、フィリピン、タイ、インド、中国、インドネシアに巡回

市民青少年交流事業費

	事業名	国	都市	会場	期間	事業内容
4	第9回漫画展	アジア地域区分困難	知立市 イポー コタ・キナバル クアラルンプール ジャカルタ ニューデリー	知立市中央公民館 ペラ州立図書館 サバ博物館 国立図書館 日本文化センターギャラリー ラリットカラアカデミー	05.07.23～ 05.07.31 05.09.05～ 05.09.25 05.10.03～ 05.11.01 05.11.15～ 05.11.30 06.01.08～ 06.01.27 06.03.30～ 06.04.05	アジア各国の社会、文化、人々の暮らしなどを紹介するため、第9回展では「アジアのIT事情」をテーマにアジア8カ国（中国/インド/インドネシア/日本/韓国/マレーシア/フィリピン/タイ）の第一線で活躍中の漫画家8名が諷刺、ユーモアを交え1コマ（あるいは数コマ）で描いた作品（計80点）を平成16年度に引続き、国内1都市（愛知県知立市）およびマレーシア、インドネシア、インドに巡回
5	第10回漫画展	アジア地域区分困難	東京 長野県その他 取手市 大阪市 徳島市 さいたま市 小平市 高梁市	国際交流基金フォーラム 上山田文化会館ホワイエギャラリー とりでアートギャラリー「きらり」 大阪国際交流協会ギャラリー 徳島県立二十一世紀館多目的活動室 さいたま市立大宮図書館展示ホール 小平市民文化会館ルネこだいら展示室 高梁市吉備川上ふれあい漫画美術館	05.10.22～ 05.11.11 05.11.20～ 05.11.27 05.12.09～ 05.12.18 06.01.07～ 06.01.15 06.01.26～ 06.02.05 06.02.14～ 06.02.25 06.03.04～ 06.03.09 06.03.18～ 06.03.26	アジア各国の社会・文化・人々の暮らしなどを紹介するため、第10回展では「アジアの環境問題」をテーマにアジア10カ国（カンボジア/中国/インド/インドネシア/日本/韓国/マレーシア/フィリピン/タイ/ベトナム）の第一線で活躍中の漫画家が諷刺、ユーモアを交えた1コマ（あるいは数コマ）で描いた作品（計77点）を展示。第10回という節目にあたることからアジアから4名の漫画家を招待し、討論会、似顔絵プレゼント会もあわせて開催。国内8都市での巡回展を実施

2. 催し等事業費 (8) 異文化理解ワークショップ

日本における異文化理解促進のため、公開講座や巡回展を実施する。

合計額 8,383,301円

	事業名	国	都市	会場	期間	事業内容
1	中南米理解講座	米州地域区分 困難	東京	U.S.エ デュケー ション・ ネットワ ーク 国際交流基 金国際会議 場	05.04.01～ 06.03.31	中南米諸国の社会・文化事情やその歴史的 背景などについてのより深い関心と正確な 理解を促し、かつ、当該地域の社会・文化・ 芸術等に関する基本的な知識・情報を体系的 に提供することを目的として、一般市民 向け講座を実施
2	大洋州理解講座	オーストラリ ア	東京	日本教育会 館	05.04.01～ 06.03.31	大洋州諸国の社会・文化事情やその歴史的 背景などについてのより深い関心と正確な 理解を促し、かつ、当該地域の社会・文化・ 芸術等に関する基本的な知識・情報を体系的 に提供することを目的として、一般市民 向け講座を実施
3	東京大学 コ リア・コロ キウム	韓国	東京	東京大学	05.04.01～ 06.03.31	国内外の韓国・朝鮮に関する専門家を招き、 学生・市民に韓国・朝鮮に関する学問成果、 情報を提供